

さきやま しおふきあな
崎山の潮吹穴

- ◇ 指定日 昭和14年9月7日
- ◇ 所在地 崎嶺ヶ崎
- ◇ 所有者 個人

潮吹穴は崎山地区の日出島集落と休暇村陸中宮古の間にあります。

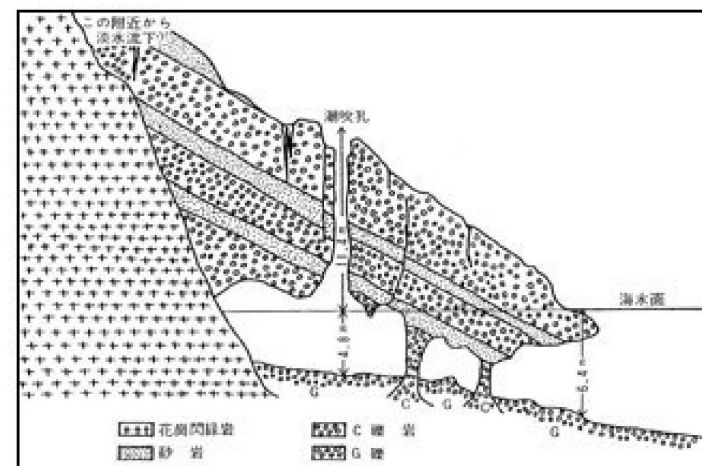
斜面になって海に落ち込む波打際にあり、海が荒れると約30mも潮（海水）を吹き上げます。穴は、長さ約2.5m、最大幅約65cmです。

元々は、中生代白亜紀の礫岩^{れきがん}にできた節理面の一部が上下から拡大してできた海食洞を貫通したものです。その海食洞に波が入り込み、洞内の海水量が多くなると、上部に空いた穴から潮が吹き上がります。

噴出する潮の高さは、その日の海の状態で差がありますが、潮吹き of 規模は大きく壮大で、日本各地の潮吹穴のなかでも代表的なものとされています。



潮吹穴遠景



潮吹穴断面図